

## 園より（9月）



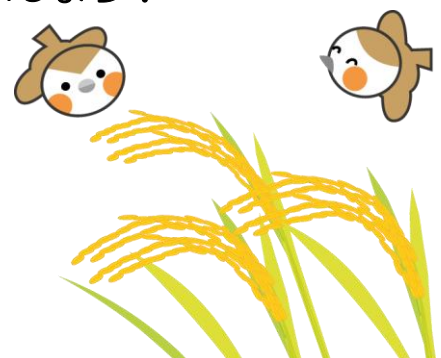
夏の終わりに台風の上陸があり、ゴーゴーうなる風の音や辺りが白くなってしま  
うくらいに強い横なぐりの雨を部屋からのぞいていた園児たち、『すごいねえ』とつ  
ぶやきながら見ていました。台風が去ってから日中は暑いものの朝晩の風が秋色に  
感じられ、季節はゆっくり秋へ向かっていることを感じさせられます。

そんな夏の終わりに分園で育てていたトマト、インゲン豆、きゅうりがしなびて枯  
れました。

子どもたちは『なんで枯れるの？』と不思議に思っていたのですがいいところに  
気づきましたね。担任の先生が『トマト、インゲン豆、きゅうりたちはおいしい実を  
つけるために頑張って力尽きたんだよ』とお話ししていました。実をつけるのに一  
生懸命がんばってくれたトマト、インゲン、きゅうり…『食べるときはありがとう  
の気持ちでいただくんだよ』と伝えていました。こういうやりとりも育てたからこ  
そでてきた会話ですね。

いろんな経験の何気ないこと、当たり前前の出来事のひとつひとつに物語のような  
意味があることを伝えられたらいいなと思います。きっと意味があることは大切に、  
大事にするでしょう。

さて、秋は行事が目白押し！楽しく元気にまいりましょう！



## 園より（8月）

ギラギラ太陽のもと、水遊びで『キャーキャー』聞こえる元気な歓声が園庭に響いています。プール、すいか割り、夏野菜収穫にと、保育園で夏を満喫！夏はまだまだ続きますので楽しい夏の思い出を保育園でもさらにたくさんつくっていきたいと思います。

さて、保育園で子どもを見ている中で保育者の思うことと世間の思うことのギャップを感じることはあるのですが・・・そのひとつに『男の子』！男の子は『強い、泣かない』というイメージをお持ちの方が多いのでは？

でも実際男の子は『弱虫、泣き虫、甘えん坊』が多いです。意外とも思われるかもしれませんが男の子の『強さ』は最初から備わったものでなく育てるものなのですね。では、どうやって育てるといいのでしょうか？しっかり甘えて、泣き虫な自分も受入れてもらって、地盤がしっかり固まって安心してから外に目が向く…ような。

何度も経験して、『これは行ける！』とスイッチが入ると強くたくましくなるようです。克服した経験があるとそこから飛躍的に伸びるようですから言葉だけで『強くなれ』と言い聞かせても難しいようです。

思えば生れてから何年も経ってない子どもですもの、今は甘えん坊だっていいと思います。子どもが自分で親から離れようとした、そのタイミングに後押しして見守ってあげればいいかな、と思います。

乱暴な強さではなく、やさしさにあふれた生きる強さを育てたいですね。

